

未来を創造する



www.placo.co.jp

Create the future



株式会社プラコー

中期事業計画

2021.7.20 版

株式会社プラコー

目的



当社は1960年に設立。60年を経過した



プラスチック成形機械メーカーとして国内トップレベルのポジションを維持。技術力及びノウハウを蓄積してきた



その間培ってきた、技術・ノウハウ・顧客・ビジネスネットワーク等々を活用し、さらに収益を伸ばしていくため、「成長戦略」を取る



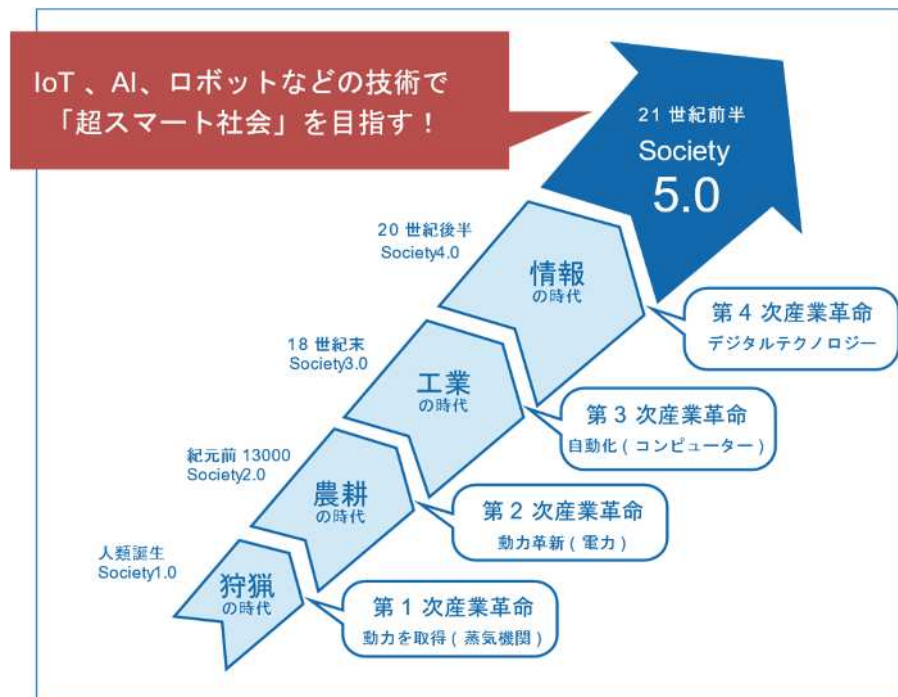
当社のステークホルダーである従業員・お客様・株主の方々に我々の目指す将来の姿を示す

当社を取り巻く環境

未来を創造する



- 現在は 100 年に一度といわれる産業社会の変革期
- 環境保護のため二酸化炭素を大幅に削減する取り組み
- 電気自動車や水素系自動車の開発と移行
- DX(デジタルトランスフォーメーション)の進行
- AI、IoT、RPA (ロボット化によるオートメーション)の活用
- 海洋資源保護や資源循環推進のためのプラスチックリサイクル利用など社会に求められる技術開発



Society 5.0とは

サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会(Society)

狩猟社会(Society 1.0)、農耕社会(Society 2.0)、工業社会(Society 3.0)、情報社会(Society 4.0)に続く、新たな社会を指すもので、第 5 期科学技術基本計画において我が国が目指すべき未来社会の姿として初めて提唱されました。

引用: 内閣府「Society 5.0」

プラコー 現状分析と課題

高技術力

インフレーションフィルム成形機およびブロー成形機は当社の主力事業。高い技術力及び実績

成長戦略

従来は「ニッチな市場での利益確保」という守りの経営。

⇒ 今後は売り上げ拡大、利益拡大という成長戦略

専門技術

コア事業：プラスチック成形機事業

プラスチックリサイクル事業：時代の要請に対応

関連事業：電気自動車・水素自動車・ロボット等

競争力

研究開発・特許取得の強化・M&A戦略採用

当社がとるべき方針

01 コア事業

インフレーションフィルム成形機及びブロー成形機事業は、当社の技術力と競争力の源



従来以上に深耕強化しシェアを伸長

展開

02 リサイクル事業

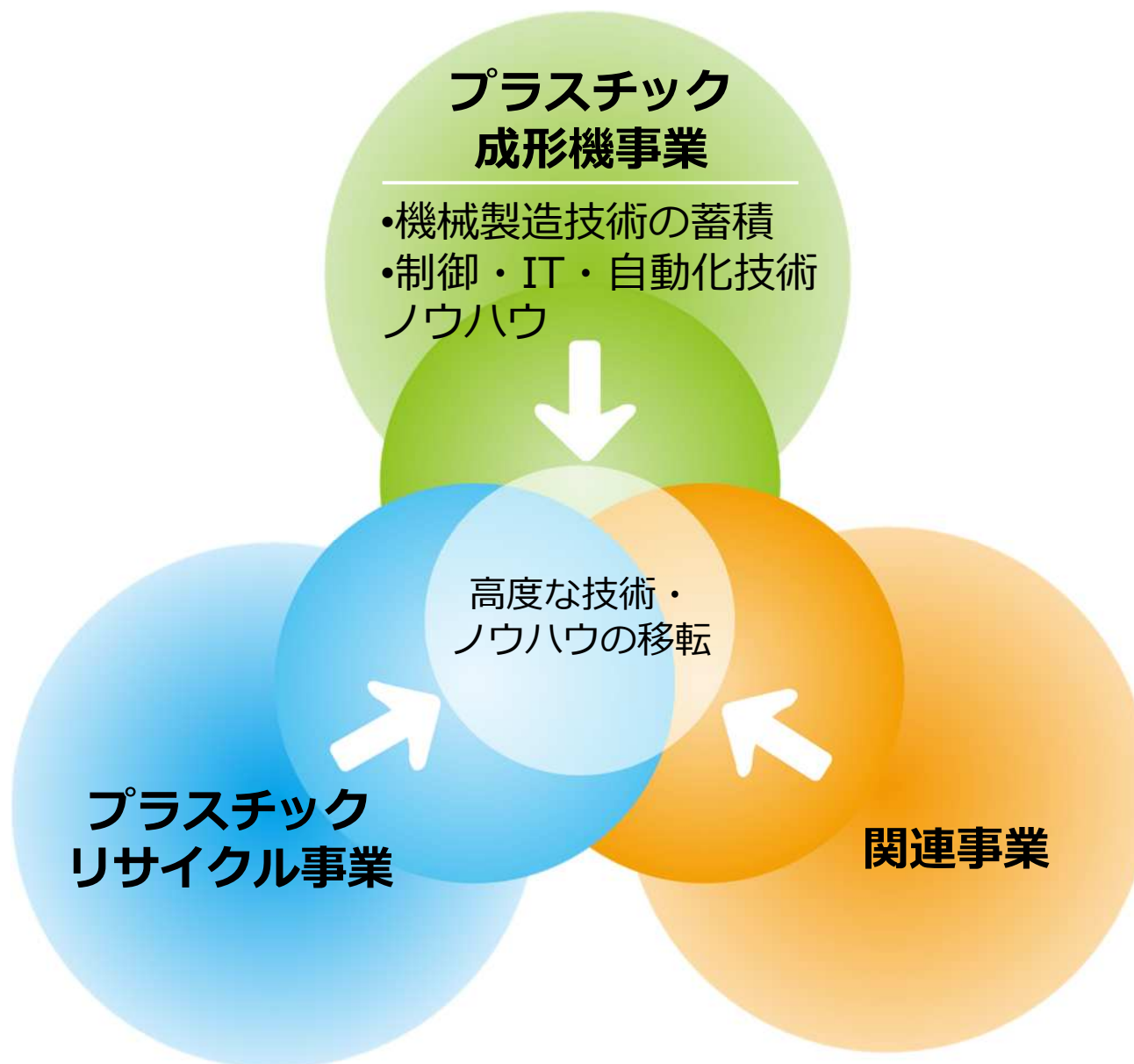
プラスチックリサイクル機器事業の復活強化プラスチック成形機メーカーとしての責任として、プラスチック製品の再利用分野に貢献する

展開

03 関連事業

当社の技術を生かした新たな事業分野
電気自動車や水素自動車関連機器
ロボット・AI関連。

3事業の相乗効果



数値目標

(単位：億円)

番号	項目	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2025 年度
1	プラスチック成形機事業	27	30	35	40
2	リサイクル事業	5	10	15	30
3	関連事業	1	10	15	30
4	売上合計	33	50	65	100.0
5	営業利益	3.0	6.0	8.5	10.0

数値目標達成のための施策①

コア事業目標

5年前(57期)売上
37億円を回復、
さらに拡大(40億円)
を目指す。

1 情報 発信

当社からお客様への情報発信：

既存顧客および潜在顧客へ、当社新製品、
新サービスの情報発信

2 業務 運営

ITフル活用による効率的業務運営：

顧客データベース。納入設備診断。テクノサ
ービス拡充。予備品サイト・プラモール充実

3 新製 品開発

営業利益の3～5%を開発投資に。
インフレーション、ブロー共に新機能
搭載機器を市場投入。

4 特許 戦略

新機能開発した技術は特許取得により
囲い込み。

5 社内 テスト機

社内テスト機を常設、顧客に来場
頂き新樹脂のテストを行っていただく

6 スクリュー 貸出サービス

貸出専用のテストスクリュー
常備

数値目標達成のための施策②

リサイクル事業

リサイクル機器製造
販売と廃プラスチック
回収加工再生剤の
製造販売

1 法令改正に対応した
リサイクル機器販売

既存顧客および新規顧客へ

2 助成金対象となる
新機能機器の開発

3 機器単品ではなく
リサイクルプラント
製品の開発販売

4 特許戦略及び
M&Aの活用。

関連事業

1 電気自動車関連、
水素自動車、燃料電池車

コア事業での技術転用および
顧客との協業。協業による新
製品開発と市場投入

2 M&Aの活用。

インフレーションフィルム成形機

未来を創造する



高性能押出機



多層インフレーション成形機

大型の成形機から小型機まで幅広く製造。製造ノウハウ保有し、顧客のニーズとともに成長。

生分解フィルム対応成形機

バイオプラスチックを用いた包装資材用フィルム成形機事業

高品質・高精度なシーラント、マスキング、医療用フィルム成形機

顧客のさまざまな要望に対応する高性能多層フィルム成形機

ブロー成形機

未来を創造する

PLACO



DAH

自動車用燃料タンク、ダクト、容器、小物などのブロー製品に対応。

プラスチック製パレットやシステムバスの壁、天井板材等の大型製品に適する高出力な油圧式ブロー成形機

食品用やシャンプーボトル等の製品に適するクリーンルーム対応な全電動式ブロー成形機

リサイクル機器

未来を創造する



お客様のニーズに合わせた環境機器の開発提案を行います。機械設計・製造、設置、移設、メンテナンスも充実



メンテナンス体制



EXZスクリュー①



シリンダー①



減速機GL①

顧客工場に訪問メンテナンス体制

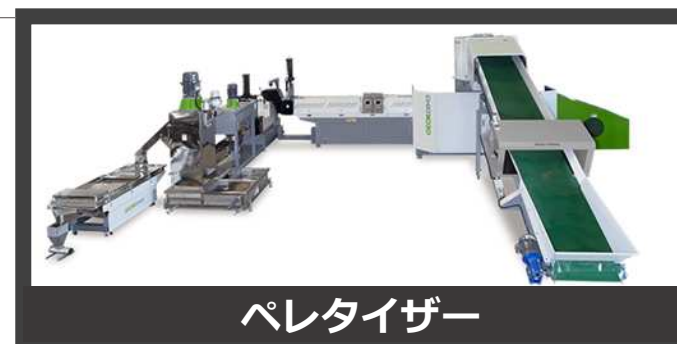
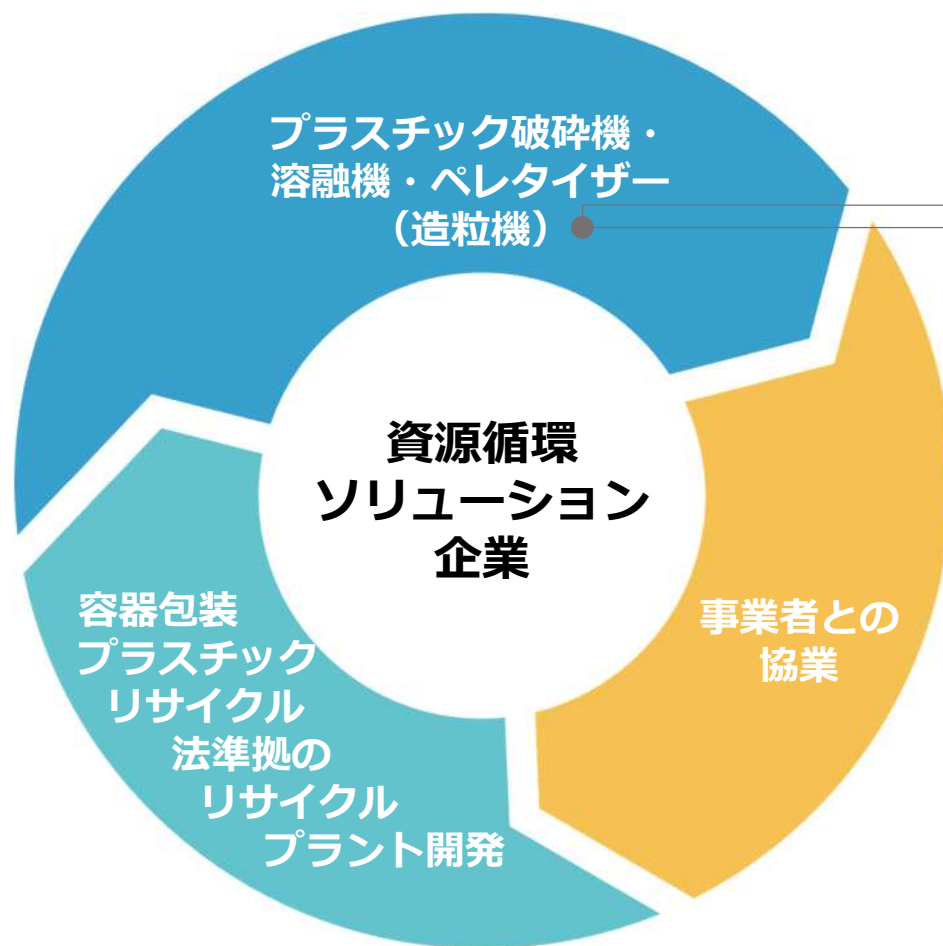
関東、名古屋、大阪、九州でのサービス

スムーズな予備品の提供

当社在庫をお客様が確認し
見積もり依頼できるシステム

プラスチックリサイクル事業

プラスチック製品を生み出す成形機メーカーの使命として、
プラスチック回収リサイクル、再生剤製造を行う。



(出典： 環境省HP)



プラスチック資源循環戦略（概要）

令和元年5月31日

背景

- ◆ 廃プラスチック有効利用率の低さ、海洋プラスチック等による環境汚染が世界的課題
- ◆ 我が国は国内で適正処理・3Rを優先し、国際貢献も実施。一方、世界で2番目の1人当たりの容器包装廃棄量、アジア各国での輸入規制等の課題

重点戦略

基本原則：「3R + Renewable」

【マイルストーン】

リデュース等	<ul style="list-style-type: none"> ワンウェイプラスチックの使用削減(レジ袋有料化義務化等の「価値づけ」) 石油由来プラスチック代替品開発・利用の促進 	<p><リデュース></p> <p>① 2030年までにワンウェイプラスチックを累積25%排出抑制</p> <p><リユース・リサイクル></p> <p>② 2025年までにリユース・リサイクル可能なデザインに</p> <p>③ 2030年までに容器包装の6割をリユース・リサイクル</p> <p>④ 2035年までに使用済プラスチックを100%リユース・リサイクル等により、有効利用</p> <p><再生利用・バイオマスプラスチック></p> <p>⑤ 2030年までに再生利用を倍増</p> <p>⑥ 2030年までにバイオマスプラスチックを約200万トン導入</p>
リサイクル	<ul style="list-style-type: none"> プラスチック資源の分かりやすく効果的な分別回収・リサイクル 漁具等の陸域回収徹底 連携協働と全体最適化による費用最小化・資源有効利用率の最大化 アジア禁輸措置を受けた国内資源循環体制の構築 イノベーション促進型の公正・最適なリサイクルシステム 	
再生材 バイオプラ	<ul style="list-style-type: none"> 利用ポテンシャル向上（技術革新・インフラ整備支援） 需要喚起策（政府率先調達（グリーン購入）、利用インセンティブ措置等） 循環利用のための化学物質含有情報の取扱い 可燃ごみ指定袋などへのバイオマスプラスチック使用 バイオプラ導入ロードマップ・静脈システム管理との一体導入 	
海洋プラスチック対策	<p>プラスチックごみの流出による海洋汚染が生じないこと（海洋プラスチックゼロエミッション）を目指した</p> <ul style="list-style-type: none"> ポイ捨て・不法投棄撲滅・適正処理 海岸漂着物等の回収処理 海洋ごみ実態把握(モニタリング手法の高度化) マイクロプラスチック流出抑制対策(2020年までにスクラップ製品のマイクロビーズ削減徹底等) 代替イノベーションの推進 	
国際展開	<ul style="list-style-type: none"> 途上国における実効性のある対策支援（我が国のソフト・ハードインフラ、技術等をオーダーメイドパッケージ輸出で国際協力・ビジネス展開） 地球規模のモニタリング・研究ネットワークの構築（海洋プラスチック分布、生態影響等の研究、モニタリング手法の標準化等） 	
基盤整備	<ul style="list-style-type: none"> 社会システム確立（ソフト・ハードのリサイクルインフラ整備・サプライチェーン構築） 技術開発（再生可能資源によるプラ代替、革新的リサイクル技術、消費者のライフスタイルのイノベーション） 調査研究（マイクロプラスチックの使用実態、影響、流出状況、流出抑制対策） 連携協働（各主体が一つの旗印の下取組を進める「プラスチック・スマート」の展開） 資源循環関連産業の振興 情報基盤（ESG投資、エシカル消費） 海外展開基盤 	

- ◆ アジア太平洋地域をはじめ世界全体の資源・環境問題の解決のみならず、**経済成長**や**雇用創出** ⇒ **持続可能な発展**に貢献
- ◆ **国民各界各層との連携協働**を通じて、マイルストーンの達成を目指すことで、**必要な投資**や**イノベーション（技術・消費者のライフスタイル）**を促進

ESGへの取り組み






項目	内容	プラコーでの取組
Environment (環境)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 再生可能エネルギー使用 ◆ CO₂の排出削減 ◆ 製造工程での廃棄物低減 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ プラスチック成形機メーカーの責任として、プラスチック製品や工場内廃プラを回収しリサイクルへ
Social (社会)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ サプライヤーの人権問題配慮 ◆ ダイバーシティやワークライフバランス ◆ 個人情報保護・管理 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 上場企業としての社会的責任 ◆ コーポレート・ガバナンスコードのコンプライアンス
Governance (統治)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 積極的な情報開示 ◆ 取締役会の多様化 ◆ 資本効率への高い意識 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 開かれた経営 ◆ 収益向上とガバナンスの共立経営

ESG

SDGs

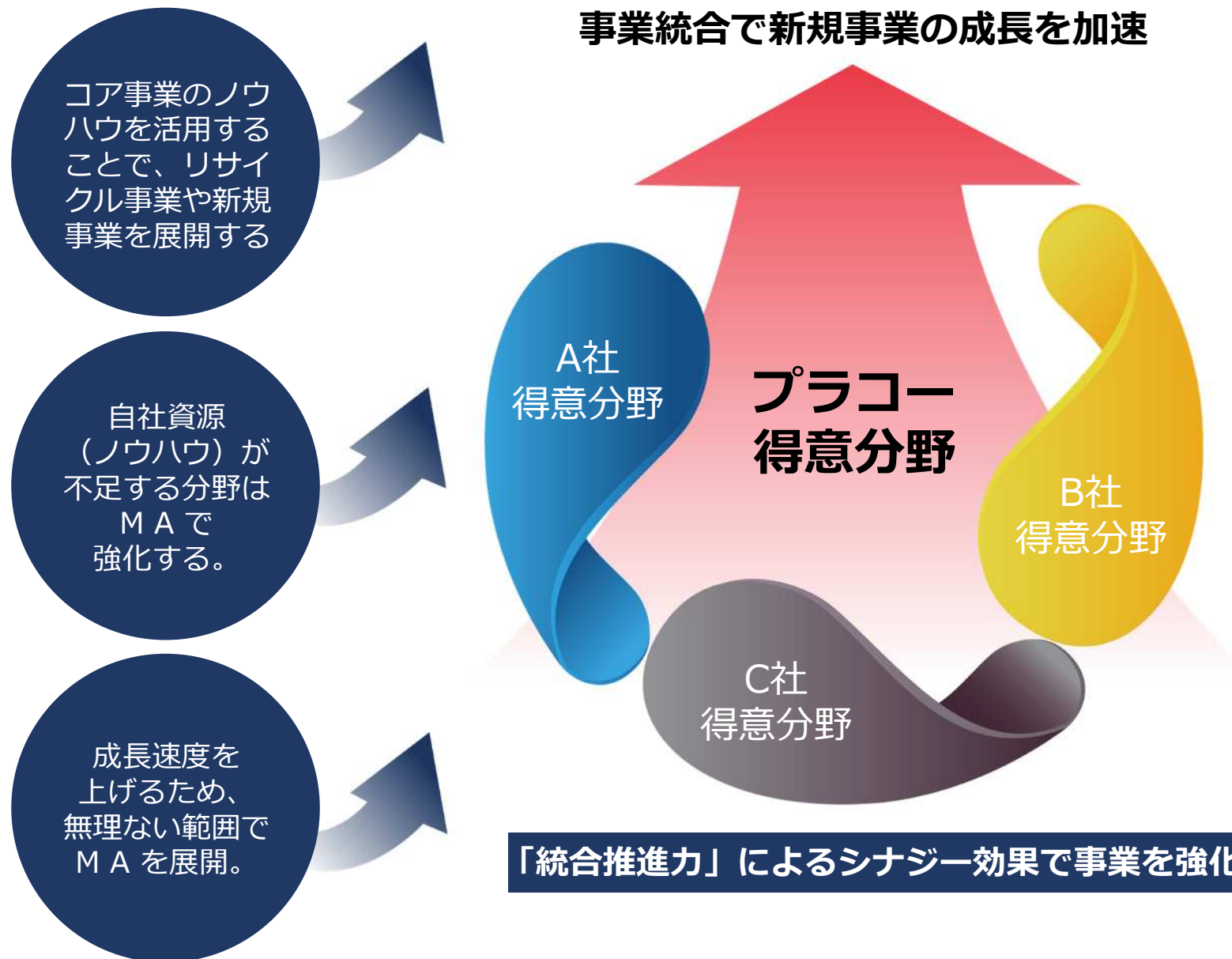


SDGs: 持続可能な開発目標

具体例	プラコーでの取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ◆ CO₂削減、カーボンニュートラル 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ プラスチックを燃やさない ◆ リサイクルによる再利用 
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 資源の保護・回復 ◆ 持続可能な利用 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ペットボトル・プラスチックフィルム ◆ 樹脂タンク、容器包装など資源循環  
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 海洋保全 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 漁網・プラスチックボトル等の海洋投棄の削減と資源回収リサイクル 
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 持続可能な開発の実施手段 ◆ グローバル・パートナーシップ 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ プラスチックリサイクル機械メーカーとリサイクルオペレーションとの協業 

- ◆ 従業員、お客様、取引先様、株主様、地域、社会、環境などへの配慮と社会貢献等への適切な実行
- ◆ お客様、取引先様、金融機関との関係改善・強化
- ◆ 従業員満足度向上
- ◆ 株主・投資家様の満足度向上

事業統合で新規事業の成長を加速



Create the future

未来を創造する



www.placo.co.jp

株式会社プラコー